

自己評価結果公表シート

作成 釧路白樺幼稚園

1、本園の教育目標

「つよく、ただしく、げんきに」をねらいとし、遊びを通じて一人ひとりが成長していくことができるようにしていく。また、自然の中で友達を意識し、友達を受け入れていくことができ、友達と一緒に遊びを進めていくことができるように、配慮していく。いろいろな経験をしていくことをねらいに、遊びの中に自ら参加してきてることができる環境を大切にしたい保育を目指していく。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領が改訂されたことを踏まえて、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高めると共に、保護者のニーズを確認することで本園としての中・長期のビジョンを明確化し、幼稚園が今後担う役割について検討する。

3、評価項目の達成および、取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	新幼稚園教育要領の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	新教育要領にも示されているように、幼稚園に求められる社会的なニーズも変化してきている。こうした背景を踏まえて、本園がこれから長期的にどのようなニーズにこたえる必要があるか、具体的に検討を始めている。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	幼児の発達の姿をとらえるための研修を定期的実施すると共に、日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日の職員会でもつようにし、自由に意見が開示できる環境をつくっている。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。	保護者との懇談会を実施すると共に、行事などについてアンケートを実施。出された意見に対して、必要なものについては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するよう取り組んでいる。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践することができた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者情報が市教育委員会や警察から随時提供されるようになってきたが、それに対する園での対応が十分ではないので、施設面での対応と、教員の意識づけ、ならびに危機管理マニュアルの作成を行いたい。
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成を検討すると共に医療・福祉の関係機関との連携をどのようにするかを検討したい。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。